

知事の地域訪問各界各層の道民等との懇談 懇談録
(礼文町地域懇談会)

日時：平成26年2月9日(日) 9:05~9:45

場所：礼文町町民活動総合センター2階大研修室

出席者：

【相手側】

三好道議・吉田道議
礼文町小野町長・礼文町村井副町長
おかみさんの会 久保三枝子
おかみさんの会 鈴木依里子
中島商店 中島園生

【道側】

高橋知事・紺谷地域づくり支援局長・小野寺宗谷総合振興局長

(小野寺局長)

本日はお集まりいただきありがとうございます。早速、礼文町地域懇談会を開催させていただきたいと思っております。私、進行を務めます宗谷総合振興局小野寺です。よろしく申し上げます。はじめに高橋知事からひと言ご挨拶をお願いします。

(知事)

皆さん、おはようございます。朝早く、稚内をでるときは真っ暗で、ちょっと寒かったのですが、こちらに参りまして、しっかりと晴れ、雪きれいですね、礼文の雪、初めてであります、冬場に一度お邪魔したいと考えておりました、それが実現いたしました、大変うれしく思っております。冬場のこの礼文島、美しいし、幻想的だし、文化があるし、いろいろ短時間で見させていただきまして、今日はまた改めて、その礼文で地域づくりにいろんな形でご尽力していらっしゃる皆様とひとときではあります話をさせていただければと思います。今日は宗谷管内の両道議であります、稚内の吉田先生と、礼文含めて広い宗谷管内を自分の足で動いております三好先生と一緒させていただいております。

(小野寺局長)

本日はですね、礼文町でご活躍されておられます3人の方々にお越しいただいております。私からご紹介させていただきます。

私どもから向かって右側から、おかみさんの会、ホテル花礼文、久保三枝子さんです。同じく、おかみさんの会、旅館桜井、鈴木依里子さんです。礼文町商工会女性部理事の中島商店の中島園生さんです。続きまして、道側の出席者をご紹介させていただきます。総合政策部地域づくり支援局の紺谷局長です。知事からもご紹介がございましたけれども道議会議員お二方にもお越しいただいております。吉田正人議員でございます。三好雅議員でございます。

それでは早速ですけどもご出席の方々から日頃の活動などについて自己紹介も兼ねましてご案内いただければと思います。

はじめに、久保さんお願いします。

(久保)

ただいまご紹介にあずかりました久保と申します。私は観光業に従事しております今日知事さんがいらっちゃって、まず一番何をお伝えしたいかなということの日頃から思っておりますことをぜひお伝えしたいと思っておりました。礼文の観光は極端に言いますが、お客様が多かった10年前に比べますと今は半分と言っているくらいお客様が減少している状況であります。そんな中で昨年名古屋からの直行便と関空からの直行便が絶たれましたことが大打撃になっております。特にここは夏場だけの観光事業でございます、春から秋口までのだいたい3か月が観光シーズンになりますけれども、夏のお客様が減少しているということが去年の直行便に加えまして大打撃になっております。ただ、今年は明るい兆しがありましてFDAのチャーター便が3千人位を予定しているということに希望を持って今年もお客様を迎えたいと思っております。

(鈴木)

私のやっている旅館は家族で経営している小さな旅館なんですけども、久保女将がおっしゃったようにやはり10年くらい前から不況のあおりを受けて宿泊のお客様が減少していますが、今、うちでは年間を通して営業していますので、礼文町のトンネル工事ですとかそういうお仕事のお客様が近年増えていきますので、冬期間はここ2~3年は利用して下さいましてすごく助かっています。

(知事)

冬期間に来るの。

(鈴木)

冬に工事が入りますので。夏は観光のお客様なんですけど、冬は工事のお客様が利用して下さってありがたく思っております。また、小学生の子供が二人おりまして、高校生の子供を札幌の高校に出しているんですけども離島に小児科医がないのでちょっと医療の面で一番不便を感じるなと思います。

(中島)

個人経営の商売をやっております。フェリーターミナルの前に観光の土産店と加工のほうでウニとか島で獲れる魚などの加工と販売、本店のほうでは、酒やお米などの一般の食品を売っていてそれを家族でやっているところです。みなさんおっしゃったように船の便が悪くなったとかお客様の入りが夏は悪くなったところがありまして、私たちの商売にもちょっと影響があり、去年はだいぶ打撃を受けております。加工のほうでいいますと魚のほうも波があって獲れたり獲れなかったりウニに関しては、だんだん獲れなくなってきているので、値段のほうもすごい高くなってきて、去年の最後のほうのウニの値段が3万円だった。そうなる私たちが加工するほうは高くなった分の値段をそのまま高くすることができなく、作ることもなかなかできない状態になっており、これからは少し考えなければならぬといったところにさしかかっていると思っております。ただ、今年は午年ということで少し景気が良くなればなと思って楽しみにしています、島の中の人口が少なくなってきているので何をやるにもまだ、辛抱しないとイケないのかなと思って過ごしています。

(知事)

中島さんは、東京からこちらに移住されたのですか。ご結婚に伴ってということですか。

(中島)

学生時代にアルバイトで最初に島に来まして、夏の間だけアルバイトをしており、元々北海道が好きで北海道に住みたいと思っていたので、この島にアルバイトに来てそのまま居着いちゃったということです。(島に来た頃は)何十年も前なので今よりももっとすごくキラキラしていたような気がします。船はもう少し小さかったんですけど船に乗るのに1時間も2時間もずらっと並んで待って船がいっぱいになると、じゃ次の便に乗ろうかなみたいな時に来ましたので、もっと若い人が多くアルバイトの人もお店をやっている方も若かったのもう少し活気がありました。

(久保)

団体さん同士が席取りをするのに喧嘩になるくらい朝早くから並びまして、ここでコーヒーを売ったら儲かるのではと思うくらい両サイドに列が出来て乗るにも降りるにも時間がかかってそんな時代があったので、いまはトップシーズンなのだと思うくらい港が閑散としていて寂しくなったなと思います。

(知事)

去年は特に中部とかの直行便がね。

(久保)

そうですね。3万人くらい違いますものね。ツアーも減って去年は船の時間の問題もあって大変でしたけれども、それに付け加えて直行便が絶たれたというのが、特にご年配の方々には本州からのお客様ですとやはり飛行機便がほとんどですので、そこを絶たれたというのがとても大きかったですね。

(知事)

また、飛行機便という意味では、LCCがね、千歳には少なくとも1本来てて、よくマスコミなんかではLCC同士が競争して足引っ張り合いをして大変だと言っていますが、実際にLCCの経営をしている人たちと話をすると、まだまだ潜在需要はいっぱいあるという話を聞いて、ということは新千歳のようなほっといてもいっぱい来るような、そういった所だけではなくて稚内であるとか道内広いから女満別含めてそうなかなか定期便化は難しいけどチャーター便でならといったところ、景気がいい状況が続けば可能性があると思っています。そういう方々に空港の売り込み、路線のお願いをするときに新千歳だけとは決して言わないんですよ。礼文だって空港あるんですよ。稚内と利尻の空港でも同じですけども売り込みをしていかなければならないのかなと思いますけど、あと、旅客船のクルーズとかね。そういう方々の、皆様方のご商売のような宿に泊まるってことはあまりないかもしれない。船が宿泊施設ですものね。やっぱり寄港して一気に何時間か散策したり観光したり、昨日の夜、稚内でも話をさせていただいたときに、皆ライバルなんですけどもね、なんで稚内に来ないで網走に行くんだっておっしゃっていましたが、そういうことも必要だと思いますね。

(小野町長)

礼文香深港は間口が小さくクルーズ船が入港できないんですよ。今、沖がかりをしてそこからテnderポートで入ってくるんですよ。ただ、船泊港は湾になっていますから風の向きによっては入れるかもしれませんね。ただ、どうしても接岸はできないんですよ。海が浅くて。いろんな方法を考えるのですが、今は沓形の港が客船が入れますから、そこに降りてそこからフェリーで来るようなことを考えれば、ここにも来てもらえると考えているんですけどもね。

(知事)

写真にある花の美しさね。ちょっとやはり(利尻と礼文では)植生が違うのかな。こんなに近いのにね。

(久保)

特に礼文の良さは西海岸線というのは人が歩く道だけなんですよね。山の尾根伝いに花の道を歩きながら、黒々とした岩肌に咲くという礼文の花のけなげさがやっぱり魅力だと思うんですよ。

(知事)

車が入ると入らないのとやはり自然の守られ方が違いますものね。

(久保)

島ならではの景色の良さというのがありますね。花の道を歩きながら両サイドに海が開けて眼下に見下ろせるというのが魅力です。利尻富士も眺められます。

(知事)

鈴木さんのところは冬場の工事関係者が増えているということなんですけど、桃岩トンネル工事の。

(小野町長)

3年位工事がかかるようですからまだ、3年間大丈夫です。

(鈴木)

町長、3年じゃ(短い)。

(知事)

10年は欲しいね。

(小野町長)

また、違うことを考えないと。知事さんをお願いしないとね。

(小野寺局長)

トンネルを掘る技術となると、どうしても島外の建設会社になるのでお客さんになる機会は結構ある。

(知事)

中島さんのところは魚のお土産物屋さんとか魚の加工などをやられているとのことですが、圧倒的に観光客のほうですね。お客さんはね。

(中島)

観光にいらっしゃって食べられて、戻られてからという方のほうが多いのかもしれませんが。後は島の中の方、今はトンネル工事の宿舎の方が2軒いらっしゃるんですけど、うちの又カぼっけを使って下さったりしています。

(知事)

漁組の方々と商工会の方々の連携とかされているんですか。

(中島)

漁組ではなく水産加工業者とのつながりはあるかもしれないです。漁組さんとはないかな。

(小野町長)

漁組とはライバルみたいになってますね。組合のほうは今いろいろなものを扱い始めていますから。

(知事)

地域に聞いていると商工会の方々、旅館、観光関係の方々とか農業地域ならJAの方とかね。漁業のJFの方とか女性同士が連携しているいろいろやっている。もちろんライバルではあるんだろうけど地域を良くしようというね。

(中島)

漁組さんとはないかもしれない。あとは、みなさん商工会とか旅館のみなさんと一緒にお仕事をしたりしますので、連携した取組はしているのかなと。

(久保)

なかなかね。夏は結局忙しくてですね。とにかく短期間の営業ですからね。従業員がほとんどアルバイトさんなんで、自分が先立って動かないと皆がついてこない状況の中で、特に夏場の行事が多いんですよ。花祭りとかお客様を迎えるためのイベントとか多いのですが、なかなかその時には自分自身の身動きがとれなくてそちら側との連携がないんですね。

(知事)

確かにハイシーズンとあまりお客様の来られない時期がありますから、従業員の方もアルバイトとか短期雇用とかなかなか大変ですものね。

(久保)

9月過ぎますとみなさん帰る支度になりますから。

(知事)

北海道の方が多いのですか。

(久保)

うちの場合は本州の方が多いですね、遊びがてら礼文で一夏楽しい思い出をという人が多いですね。今の若い人はね。

(村井副町長)

お客様の目線からするとアルバイトには全然見えない。ここで働いている方なんだなって思うぐらいのレベルの高さだと思います。

(知事)

研修とか。毎年同じ人っていうわけではないでしょ。大変ですよ。

(久保)

5月から営業が始まりますけど、やはり6月までのトップシーズンの1か月はみんなで実践的に。

(知事)

鈴木さんのところは数は何名くらいいらっしゃるんですか。

(鈴木)

アルバイトの方を二人くらいとっているんですけども、学生の方が。アルバイト情報誌に掲載して募集しています。

(知事)

冬場って観光客が皆無ではないでしょ。

(鈴木)

たまにはいらっしゃいますけど。

(小野町長)

昔は学生さんが正月に来られたりね。ここで新しい年を迎えようとかで来られたりしていたんでしょうけど、最近はなかなかみないですね。

(久保)

一軒コリンシアンさんが通年で営業して、スノーシューで歩くような企画をして募集していたようなんですけどもね。

(知事)

利尻のほうは冬場スキーとかできるんですかね。

(小野町長)

ここ数年出だしてきましたね。例の北のカナリアパークのことで冬の映画で映った景色を見たいという方々がだんだん増えてきて、実際にはまだいらしてはいないんですけども、そういう人達もいるような事は聞いているんですけどもね。でも、なかなか稚内まで来てこの礼文に来るっていうのもお金がかかったり時間がかかったりしますからね。結構大変らしいですね。

(知事)

お金と時間はかかりますものね。冬場の穴場スポットって無いんですか。夏は花だけど冬場はこって、そういうのは。

(小野町長)

そうですね。私はいろんなところ歩きますけれども、例えば、冬にスノーシューを履いてあちこち動いてみたりするんですけど。でもそれは、よっぽど好きでなければ。

(久保)

風が強いですからね。

(知事)

風がね。どこだったかな羽幌のほうの天売・焼尻のほうだったか、いちいの木の林というのがあって、そこは冬場きれいだって。いちいの木って宮司さんのこれ(笏(しゃく))の木だって。

(小野寺局長)

焼尻有名ですね。われわれだとオンコと言います。

(知事)

冬場は中島さんのところはどのような活動をされているのですか。

(中島)

商売の方は本店だけですが、あと雪かき…。

(知事)

思ったより雪が多いなと思ったのは、島だからまわり中海で風も強くて、こんなに多くはないのかなって感じからするとちょっと意外な感じがするんですけど。

(小野寺局長)

今年は少ない方ですね。

(久保)

映画の撮影の頃はひどかったですね。毎朝、起きる度に雪が、朝6時からの食事でも皆さん4時くらいにホテルに行くまでの間、ほとんど町内の方早いですよね。4時くらいから雪投げしていて、それくらい多かったですね。

(知事)

一昨年になるんですかね。撮影は。

(中島)

その後も酷くて公共交通機関が全て止まりましたもの。停電とかあったり。

(知事)

こちらやはり島ですから電力は島の中で発電所があって自動的に回ってるわけですよ。そうか。島で停電はちょっと大変ですよ。

(村井副町長)

稚内から応援に来てくれて、電信柱に氷が着いちゃってそれが塩害で電気が止まったんですよ。それを一本ずつ上って叩いて全部落としてから電気を通したという、2日ほどかかったんですけどね。地元の人だけでは全然対応ができなく稚内から協力いただいたって経緯があります。

(知事)

電力会社の方々がああいうとき凄い一生懸命やってくれますもんね。それで、さっき久保さんがおっしゃっておられました私ども行政に対する要望というのは、なんとか公共交通機関を充実させるように働けど。町長も、頑張ります。FDAさんは稚内へのチャーター便それとも。

(久保)

稚内ですね。

(吉田道議)

関空との間が飛ばなくなって、それで一回トライしてみたいです。今年も何回かやってくれるって話です。

(久保)

去年、社長さん夫婦がお見えになってウニ丼食べてウニをこんなに美味しいのって喜んでいただいていた。

(知事)

ウニの虜になっちゃったんだ。FDAって鈴与さんですよ。ここはチャレンジな挑戦的な事をやっていて、ジェットといっても小型ですからね。一定程度集まれば。

(吉田道議)

丘珠にもトライしてるんですね。ただFDAは冬場飛びたくないみたいですね。雪の滑走路は苦手みたいですね。

(小野町長)

去年私も一回乗りましたが、名古屋までね。快適でしたよ。35度も6度もあるところに行くは大変ですね。

(知事)

いや町長、今は40度。大阪とか40度。四国で41度ね。

(吉田道議)

夏は北海道に逃げていくかと。

(久保)

やっぱりそこが絶たれたっていうのが、足が遠のく一つの要因。

(知事)

今年のこの景気だったら絶たなかったんだろうけどね。去年まだ、本物になるかどうかわからないところで、その前の年にほぼ意思決定していたということでやむを得なかったんでしょうね。

(久保)

今年はそれに消費税も入ってくるので。なんかいろいろ厳しいことばかりで。

(知事)

消費税のことで両道議に質問するのもなんですが、第2段目の消費税増税のところは。10%にしない。当面いいじゃないですか。1政権で1回でいいんじゃないですか。

(吉田道議)

1回様子見は必要ですよ。上げてからどれだけの日本の経済がこうなったのか。

(知事)

だって、100円のものが105円だったのに108円になるというのが凄く大きいし、それが110円になるんでしょ。大きいわ。

(久保)

特に島だと物価が高いので。

(知事)

その高い分を料金に乗っけてもどうしてなんだというお客様もいらっしゃいますものね。

(知事)

冬場大変だろうと思いますけれども、私もこうやって冬場のこの雪の色の白さのまばゆさがたぶん札幌の雪とは違うような気がしますんで、この冬場の魅力も微力ながらいろんなところでアピールしたいと思います。

(小野寺局長)

以上で懇談会を終了させていただきます。